

杉並建築会 第5回大会

建築アーカイヴス の意義と魅力

×

建築倉庫
ARCHI-DEPOT

2017年10月21日(土) 11:00～15:00 (受付10:30～)

講演者：藤岡洋保 東京工業大学名誉教授

会場：建築倉庫ミュージアム + TERRATORIA
参加費：5,000円(入館料含む) 主催：杉並建築会

『建築倉庫×建築アーカイヴズの意義と魅力』

杉並建築会の大会も今年で第5回を迎えることになりました。これまで、杉並のまちづくりをさまざまな角度から考えるまち歩きやワークショップを行ってきましたが、今回は趣向を変えて、「建築倉庫ミュージアム」見学会と建築アーカイヴズについての講演会です。文化としての建築を、記録として残してゆくアーカイヴズはようやく関心が高まり始めたところです。設計過程で制作された建築模型の保存・展示に取り組んでおられる「建築倉庫ミュージアム」を体感し、建築アーカイヴズ活動をリードする藤岡洋保先生のお話から、改めて「建築」を考える機会となると思います。杉並建築会を構成する3会に所属する会員諸兄が年に1度顔をあわせる機会である大会に、多くの皆様のご参加をいただきたく、ご案内いたします。

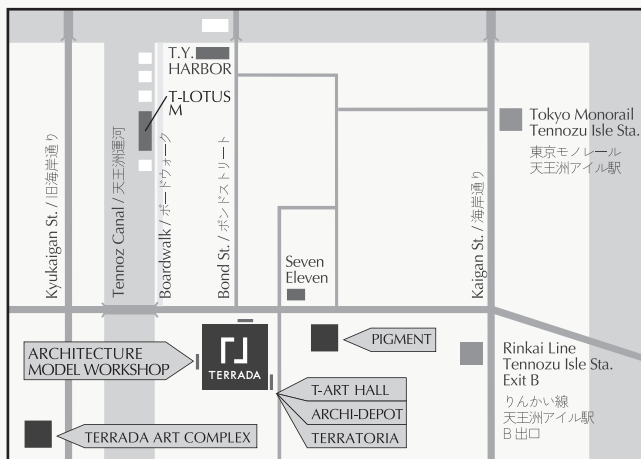
杉並建築会代表 松枝廣太郎

日 時：2017年10月21日（土）
11：00～15：00

会 場：建築倉庫ミュージアム+TERRATORIA

参加費：5,000円（入館料含む）

当日連絡先：中村 090-2499-7662



● 10:30 受付 -TERRATORIA-

● 11:00 『建築倉庫ミュージアム設立の経緯・展示品の紹介』

三宅理一（みやけりいち）

東京理科大学客員教授 一般社団法人日本建築文化保存協会理事

● 11:10 -建築倉庫ミュージアム- 自由見学

● 12:15 講演 -TERRATORIA-

『建築アーカイヴズの意義と魅力』

この10年ぐらゐの間に、日本でも建築アーカイヴズに対する関心が高まりはじめた。建築のアーカイヴズ、それも特に図面資料（設計図）は、建築家の設計趣旨、それぞれの時代の建築観やデザイン・技術のあり方、そのときどきの建築を取り巻く社会状況を読み解くうえでもっとも有用かつ重要なものである。この講演では、40年以上それをもとに建築デザインの研究をしてきた経験をもとに、日本における建築アーカイヴズの歴史、図面資料の特性や保存・公開の留意点を説明しながら、図面資料の建築史的意義や魅力について、堀口捨己や清家清など、有名建築家の図面を紹介しながら解説する。

藤岡洋保（ふじおか ひろやす）

東京工業大学名誉教授

1949年生まれ。東工大建築学科卒業、同大学院修士・博士課程終了、工学博士。近代建築史専攻。明治大学助手・東工大助教授・教授などを歴任。主な著書に『表現者・堀口捨己』中央公論美術出版、日本建築学会賞（論文）、『近代建築史』（森北出版）など



● 13:00 懇親会 -TERRATORIA-

《参加申込方法》 FAX又はメールにてお申し込み下さい e-mail:taller@ci.mbn.or.jp
※参加には事前申し込みが必要です

《お問い合わせ》 杉並建築会大会事務局（株）タジュール内 中村
TEL:03-5305-2773 FAX:03-5305-2774